



中心市街地活性化

Q&A



Q1 中心市街地の衰退による弊害は？

A1 中心市街地の衰退は、これまで培ってきた歴史・文化・経済・政治・交通など都市の核である「まちの顔」の喪失であり、市全体の魅力の減退、衰退につながります。

また、具体的な弊害としては、小売業の停滞による地元経済基盤の弱体化なども招きます。

Q2 周辺地域は活性化しないの？

A2 第8次鳥取市総合計画にも示すとおり、中心市街地以外の地域においても地域活動

中心市街地活性化 ミニシンポジウム in 鳥取

ご来場
ください!

中心市街地活性化の先進都市(富山市・山口市)の関係者を招き、シンポジウムを開催します。

- ▶ **とき** 2月25日(日)午後1時30分~4時
- ▶ **ところ** パレットとっとり 市民交流ホール
- ▶ **入場料** 無料

■ **問い合わせ先**
鳥取商工会議所まちづくり推進課(鳥取TMO)
☎(0857) 39-0777

Q3 コンパクトタウンの効果は？

都市機能の集中により、「増加する高齢者を含め誰もが住みやすいまち」や「自家用車に頼らずに歩いて暮らせるまち」、「多くの人が交流しにぎわいがあるまち」につながるこ

A3 都市機能の集中により、「増加する高齢者を含め誰もが住みやすいまち」や「自家用車に頼らずに歩いて暮らせるまち」

また、郊外開発に伴う自治体負担や環境負荷の抑制、公共交通の効率的運用などによる利便性の向上により、住みやすさ

Q4 基本計画の策定方針は？

A4 現行基本計画の課題などを抽出し、概ね5年以内に

従来の計画では、弥生公園の整備などの「市街地の整備改善」、パレットとっとり建設などの「商業の活性化」を重点的

Q5 どう取り組むの？

に推進してきましたが、新しい計画では、都市機能を総合的に向上させるため、「まちなか居住の推進」、「都市福利施設の整備」、「公共交通機関の利用増進」を盛り込むなど、国の基本方針に基づいて見直しを行います。

A5 民間事業者・地域住民と協力して、商業・仕事・居住などの都市機能の集積のため

さらに、鳥取城跡や市街地の温泉を活用した都市型観光は、交流人口の増大をもたらし、にぎわいの創出に大きく貢献するものと考えます。

また、文化施設や医療・福祉などの利便施設の整備に取り組みます。

また、鳥取市街地が活性化することで、鳥取市全体が魅力あり、活力のあるにぎわいあふれるまちになることをめざします。

中心市街地に関する問い合わせ、質問はこちらへ

市役所本庁舎 都市計画課市街地整備室
☎(0857)20-3276・☎(0857) 20-3048
電子メール shigaichiseibi@city.tottori.tottori.jp

※質問の内容によっては、市ホームページで公開する場合があります。(質問事項・内容のみ)

※1 中心市街地活性化基本計画に、地域や民間事業者の意見を反映させることや、民間事業者との調整などを主目的として組織される民間の組織。本市では、鳥取商工会議所と財団法人鳥取開発公社が中心となって、昨年12月に協議会の設立準備会を立ち上げ、本年4月の協議会設立を目指し、会の体制や規約などについて検討中。

※2 鳥取市都市計画マスタープランにおける都市づくりの概念。市街地(都市)と田園地域(農村)が融合した「新・生活交流都市」